

## 生物科学学会連合 第 31 回定例会議 議事録

日 時：2025 年 4 月 30 日（水）13:30～15:15

場 所：オンラインによる開催

出欠状況：

出席（加盟団体）： \*印は兼任または重複出席者を示す。

### 運営委員

東原 和成\*（生科連 2023-2024 代表）

後藤由季子（生科連副代表） 水島 昇（生科連副代表）

小林 武彦\* 片山 豪\* 和田 洋

### 団体代表

小野 教夫（染色体学会）

東原 和成\*（日本味と匂学会）

高橋 昭久（日本宇宙生物科学会）

豊島 文子（日本細胞生物学会）

小倉 淳郎（日本実験動物学会）

高野 博嘉（日本植物形態学会）

平沢 達矢（日本進化学会）

宮田麻理子（日本神経科学学会）

宮下 直（日本生態学会）

中根 大介（日本生物物理学会）

寺田 信生（日本組織細胞化学会）

志賀 向子（日本動物学会）

鎌田真由美（日本バイオインフォマティクス学会）

永田 崇（日本比較生理生化学会）

岡部 聡（日本微生物生態学会）

藤田 敏彦（日本分類学会連合）

鏑田 武志（日本免疫学会）

田辺 秀之（染色体学会）

菱田 卓（日本遺伝学会）

大和田祐二（日本解剖学会）

岩崎 秀雄（日本時間生物学会）

布施 静香（日本植物学会）

経塚 淳子（日本植物生理学会）

尾藤 晴彦（日本神経化学会）

仁科 博史（日本生化学会）

片山 豪\*（日本生物教育学会）

高橋 倫子（日本生理学会）

前仲 勝実（日本蛋白質科学会）

喜田 聡\*（日本農芸化学会）

丹羽 隆介\*（日本発生生物学会）

佐竹 炎（日本比較内分泌学会）

中川 真一（日本分子生物学会）

井手 竜也（日本分類学会連合）

諫田 泰成（日本薬理学会）

（計 32 団体）

欠席（加盟団体）： 個体群生態学会 日本人類学会

（2 団体）

（加盟合計 34 団体）

出席： 遠藤 一佳（自然史学会連合）

喜田 聡\*（令和 5・6 年度会計監査委員）

丹羽 隆介\*（令和 5・6 年度会計監査委員）

五十嵐和彦（日本学術会議基礎医学委員会委員長）

小林 武彦\*（日本学術会議基礎生物学委員会委員長）

辻 省次（日本医学会）

笹川 昇（JBO 副委員長）

岸本 健雄（国立沖縄自然史博物館設立準備委員会）

（敬称略、加盟団体名 50 音順）

事務局 東海 春香

## 議題・報告：

1. 代表挨拶  
東原代表より第 31 回定例会議開催にあたり挨拶が述べられた。
2. 前回議事録確認について  
第 30 回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。
3. 副代表ならびに運営委員の選任について  
東原代表より、令和 7・8 年度副代表として、後藤由季子氏ならびに水島昇氏、運営委員候補として、小林武彦氏、片山豪氏、和田洋氏が推薦され、協議の結果、原案通り承認された。引き続き副代表および運営委員よりそれぞれ挨拶が述べられた。
4. 会計監査委員の選任について  
東原代表より、令和 7・8 年度会計監査委員候補として、丹羽隆介氏ならびに喜田聡氏が推薦され、協議の結果、原案通り承認された。
5. 令和 6 年度事業報告について  
東原代表より、資料に基づき令和 6 年度事業報告について、定例会議および運営委員会の開催、各種委員会などの活動の報告がなされた。
6. 令和 6 年度会計報告について  
事務局より、資料に基づき令和 6 年度決算報告について、収入は例年通りの内容となっているが、支出は生物科学学会連合案内パンフレットの作成を行わなくなったため印刷費がなくなり、高等学校の生物教育における重要用語解説集の wiki サイトや科研費増額要望書手交時のパネル作成など活動費が増えたと報告がなされた。また、全体としては 41,394 円の黒字であったと報告がなされた。会計監査は例年通り 6 月、7 月に実施予定のため、次回定例会議で報告を行うと告知がなされた。
7. 令和 7 年度予算案および事務業務委託契約書について
  - (1) 令和 7 年度予算案について  
事務局より資料に基づき令和 7 年度予算案について、昨年同様の内容で作成しているが、事務業務委託費の値上げにより業務委託委託費が 15 万円増えていると説明がなされた。審議の結果、令和 7 年度予算案は原案通り、承認された。
  - (2) 事務業務委託契約書について  
事務局より、資料に基づき今までの事務業務委託契約書との変更点および学会事務業務委託料値上げの説明がなされた。協議の結果、引き続き中西印刷への事務業務委託が承認された。
8. 関連国際会議について  
事務局より、資料に基づき今後開催される関連国際会議について説明がなされた。その他、周知したい情報がある場合、事務局宛に連絡して欲しいと依頼がなされた。
9. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について  
笹川昇国際生物学オリンピック日本委員会副委員長より、日本代表候補者の選抜について、3 月に最終選抜試験を行い、4 名の日本代表、2 名の次点者を選出したと報告がなされた。また、2025 年の国際生物学オリンピックは 7 月 13～20 日にフィリピン・ケソンで対面実施予定、日本生物学オリンピックは予選が 7 月 13 日、本選は 8 月 18～21 日に東京都立大学で開催予定と告知がなされた。

10. 研究費・人材育成委員会について  
後藤副代表（委員長）より、資料に基づき科研費増額要望のための署名について、16 の学会連合に賛同いただき、文部科学大臣へ要望書を手交や日本経済団体連合への説明を行い、その結果、日本経済団体連合のフィーチャー・デザイン 2040 に含まれたとの報告がなされた。
11. 生物教育・大学入試問題検討委員会について  
片山委員長より、2024 年 12 月 21 日に魅力ある生物教育をどう実現するかをテーマにシンポジウムを開催したと報告がなされた。また高等学校の生物教育における重要用語の解説集について、WordPress を使用した wiki 形式で作成予定であると説明がなされた。
12. 地球生物プロジェクト委員会について  
東原代表より、第 6 回高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストについて 416 件の応募があり、40 作品（38 名）に優秀賞を授与したとの報告がなされた。今年度も引き続き開催する予定で、より多くの学校から応募をいただくため広報の方法について意見交換がなされた。
13. 第 30 回定例会議後の活動状況について  
東原代表から資料に基づき第 30 回定例会議以降の活動状況として、シンポジウムの開催、メール審議 1 件、後援 2 件、共催 1 件、協賛 1 件、加盟団体への周知 5 件の活動を行ったと報告がなされた。
14. 日本学術会議について  
小林基礎生物学委員会委員長より、学術会議法案に対する声明及び修正を求める決議と高等学校の生物教育における重要用語の選定について説明がなされた。
15. 国立沖縄自然史博物館の設立活動について  
岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。
16. その他
  - (1) 委員会希望調査について  
東原代表より委員会希望調査をメールで行うとの告知がなされた。
  - (2) ホームページ掲載の加盟団体の紹介について  
東原代表よりホームページに掲載している加盟団体の紹介について、情報確認の依頼がメールで配信されると告知がなされた。

以上